

臨時社会教育委員会議事録（議事要旨）

1 **開催日時** 平成19年4月25日（水）午後2時～4時20分

2 **開催場所** 浦安市中央図書館 1階 集会室

3 **出席者**

（委員）

舟田委員長、梅澤副委員長、黒田委員、山本委員、指田委員、森委員、
中村委員、津矢田委員、田中委員、下田委員

（事務局）

教育委員会理事、生涯学習部長、同次長、生涯学習課長、同主幹、同課長補佐、市民スポーツ課課長補佐、青少年課長、中央公民館長、堀江公民館長、富岡公民館長、美浜公民館長、当代島公民館長、日の出公民館長、中央図書館庶務係長、視聴覚ライブラリー館長、郷土博物館長、青少年センター所長、生涯学習係

4 **議 題**

（1）前回会議内容の確認

（2）協議事項

1）平成19年度 社会教育関係団体活動補助金の交付予定について

（3）報告事項

1）社会教育関係団体の解散の報告について
2）平成19年度 事業計画について

（4）諮問について

1）教育委員会からの諮問事項についての検討

（5）その他

1）浦安市青少年海外派遣選考委員の推薦について

2）次回会議日程について

5 **議事の概要**

（1）前回会議内容の確認

平成18年度第6回社会教育委員会議の議事録について、事務局より報告を行った。

（2）協議事項

1）平成19年度社会教育関係団体活動補助金の交付予定について
補助金交付予定のある担当課長より内容を説明し、委員より意見を求め、承認された。

（3）報告事項

1）社会教育関係団体の解散の報告について
生涯学習課長より報告した。
2）平成19年度事業計画について
各担当課（館）長より内容を説明した。

（4）諮問について

1）教育委員会からの諮問事項についての検討
答申（案）全編を通して、再度検討した。

（5）その他

- 1) 浦安市青少年海外派遣選考委員の推薦について
推薦者の選出について委員長に一任した。
- 2) 次回会議日程について
次回の会議は、平成19年5月17日の開催予定。

6 会議経過

※ 開会前に、委嘱状の交付（黒田委員）及び行政側並びに社会教育委員の自己紹介を行った。

(1) 前回会議内容の確認

前回開催の第6回社会教育委員会会議の議事録について、事務局より報告を行った。

(2) 協議事項

平成19年度社会教育関係団体活動補助金の交付について、該当のある担当課長より内容を説明した。

その際に表明された質問及び意見は次のとおりである。

(意見) 全国大会・関東大会への出場団体に対する補助金ですが、現状では宿泊・交通費にかかる1/3を補助している。体育大会のレベルもあがり、出場する機会も多くなっているので、補助率を上げていただきたい。

(回答) 宿泊・交通費について、高校生以下は10割、成人は1/3を補助している。補助率の増加については今後の参考としたい。

(質問) 子ども会35団体のうち、5団体が申請しなかった理由は何か。

(回答) 資源回収などの独自の活動による収益で団体運営が賄える団体もあり、そのような団体からは交付申請がなかった。

(質問) 合同で事業を開催する場合もあるが、その場合の取り扱いはどのようなになるのか。

(回答) 事業費割による申請をしている。

(意見) 千葉県国公立幼稚園PTA連絡協議会の当番地区が浦安ということで、浦安地区公立幼稚園PTA連絡協議会への補助額が40万増額されているが、充実した内容の大会になるよう指導していただきたい。

(質問) 補助額が前年度に準じた金額となっているが、部分的に補助金を増額して成果アップを図ったりする発想はとらないのか。

(回答) 補助金交付については、行政改革の流れの中で、補助金の目的・用途、補助率について適正化を図るよう指導を受けている。必要な事業については、社会教育活動の振興のために補助金を交付していくことで考えているが、予算上、増額については厳しい環境にある。実態としては、事業実績を踏まえながら、昨年同額の補助額の交付としている。社会教育活動の振興上、必要な事業について増額が必要なものについては、財政当局と交渉しながら確保に努めていきたい。

(意見) 補助額以上の繰越金が生じている団体も存在しているので、このような状況が発生しないように指導願いたい。

(3) 報告事項

1) 社会教育関係団体の解散の報告について

卓の会（認定番号：185、認定年月日：昭和63年5月26日）から解散届が提出された件について、生涯学習課長より報告した。

2) 平成19年度事業計画について

各担当課（館）長より内容を説明した。その際に表明された質問及び意見

は次のとおりである。

(質問) 文部科学省では19年度に地域教育力の再生を打ち出しているが、浦安市ではどのような対策を講じているのか。

(回答) 子どもプランについては、青少年課で放課後異年齢児事業の一環として、日の出地区をモデル事業に19年度に予算計上し取り組む予定である。

(意見) 昨年、他市で発生したプールでの事故がないように、運営には留意して欲しい。

(質問) 子どもビジネススクールについて、内容・目的欄では小学校5年～中学3年の若年層を対象とした事業と記載され、参加対象欄では一般と記載されているが、指導者層を対象とした事業なのか。

(回答) 事業区分としては一般奉仕で実施する事業であり、参加対象とするのは小学校5年～中学3年である。

(質問) 学校への出前講座的な事業は考えていないのか。

(回答) 現在のところは出前講座を行う考えはない。

(意見) 18年度からキャリア教育が始まり、18年度には3校、19年度には6校で実施される。小学校では、中学校で行っている職場体験がなかなかできない状況にある。そこで子どもビジネススクールのような講座を受けて学習することも必要であることから、学校からの要請に応え出前講座的な事業展開も実現できることを要望したい。

(質問) VODとはどのようなものか。

(回答) 学校に発信しているコンピュータの中で、様々な疑似体験ができる教材のひとつであり、教育センターと共同で行っている補助教材である。

(4) 諮問について

1) 教育委員会からの諮問に対する答申の検討

答申(案)全編を通して、再度検討した。

(5) その他

1) 浦安市青少年海外派遣選考委員の推薦について

青少年課からの依頼による青少年海外派遣選考委員の推薦については、委員長に一任した。

1) 次回会議日程について

次回の会議は、平成19年5月17日の午後2時から文化会館で開催する予定である。

以 上